

この人に会いました

今回は湯沢町で外国人観光誘客事業を行っているニール・ライリーさんにお話を伺いました。



ジャパン・ワールドワイド株式会社 取締役
ニール・ライリーさん

なドリンクを揃えて、湯沢のナイトライフを楽しんでもらえるよう頑張っています。

数あるスノーリゾートの中で湯沢を選ばれた訳と、外国の方から見た湯沢の魅力について聞かせてください。

思い出に残る日本での旅を提供することが使命と事業展開されていますが、会社の業務形態について聞かせてください。

2005年4月湯沢町で、会社を立ち上げました。旅行業を軸に翻訳業とバー事業も展開しています。

旅行業では旅行予約サイト「www.meloveshow.com」でオンラインでの宿泊施設の予約から、スキーパス、レンタル&レッスンの提案など、海外のお客様が日本語を一言も話すことなく、湯沢への旅を楽しんで頂けるようお手伝いを行っています。翻訳業では、各種施設の英語表記の提案、英語のウェブサイトを制作などを行っています。バー事業は温泉街で「bottle bar」を企画・運営しており、海外からの来日客と地元との交流場として、世界各国のビールから老舗白瀧酒造のお酒まで、多種多彩

自然が織りなす銀世界の迫力と人の温かさに魅了されたからです。また東京からのアクセスが非常にいい場所でありながら、海外からのお客様への宣伝がゼロだったため、それをうまく告知していけば、大きなビジネスチャンスがあるに眠っていると感じたからです。湯沢町の魅力はおいしいお酒に、温泉ですね。ホテルの露天風呂から望む雪景色は何とも風情があつて、言葉に言い表しにくいほどの感動を覚えたことがあります。もちろん冬のシーズン思う存分スキー&スノーボが楽しめるのは、湯沢の数ある魅力と切り離せないですね。

外国人観光客への町の取り組みにアドバイスをお願いします。

早い段階で、町に点在する表記やバス停のサインを英語／中国語／韓国語などで統一して作成して頂きたいです

ね。特に各種スキーリゾートへ行くバス停の表記は、あまりにもいろんなサインがあるので、統一した表記で色分けやナンバリングをして頂きたいと、町に提案しています。統一することで、町の景観を崩さず、海外からのお客様だけでなく、日本のお客様にもやさしい町になると考えています。レストランやホテル、各種施設のパンフレットや地図を英語でも作成してもらいたいです。弊社でも独自でやっておりますが、やはり町全体で取り組んでもらうとお客様への印象も全く違うものになると思います。弊社のお客様はリピーターの方が増えてきているので、この流れで、日本の中でも、この越後湯沢という町の虜になつてほしいと常に考えて頂きたいです。

ニールさんのプロフィールと今後の目標について

イギリスのニューカッスル大学で日本語と政治学を学んでいる時に、初めて交換留学生として福岡へ来たのが、来日したきっかけです。大学を卒業後、英語教師や銀行での勤務を経て、4人の友人とともに、湯沢町でジャパン・ワールドワイドを設立しました。今期で冬のシーズンが3シーズン目を迎え、町の中で外国の方が年々増えてきているのを見て、やはりうれしく思いますね。これからはオリンピックを目前に控えて、急成長する中国の富裕層向けに、中国サイトのコンテンツ

を充実させていきたいですね。13億人の総人口の15%が中国の富裕層とするなら、軽く日本の総人口以上の人がジェットセッターとして各地を飛び回るわけです。中国ではスキーへの関心も伸びているようですし、湯沢へ旅行客が押し寄せる日も近いと思いますよ。

★インタビュを終えて

国内観光客減少に伴って、全国の観光地やスキー場で外国人観光客の誘客に力を入れています。湯沢でも韓国や中国・ロシアからのスキー客が目立つ様になりました。お話を伺って、スタッフの湯沢への強い愛情を感じ、今後の湯沢の観光に大きな力になっていただけると感じました。

1月17日

議会広報特別委員会
委員 森下昌次
委員 田村正幸



「絆 (きずな)」

原油高騰に伴い、石油は勿論、食物や生活雑貨の値上げが相次ぎ、主に冬季を収入の要とするスキー産業界にとっては、大きな打撃を免れない、大変苦難なシーズンとなりました。車での移動を控え、暖房器具の使用を最小限に抑えている家庭も多い事と思えます。原油の枯渇年数は残り約六十八年と言われております。次世代燃料のバイオエタノールが未だ定着に至らない現在、かつての主燃料であった石炭や木炭に再度需要が発生するのも時間の問題なのかも知れません。

一昨年の豪雪から一転、昨年そして本年と暖冬に見舞われ、この少雪の状況を目の当たりにして、来場されるお客様の冬季レジャーに対する選択肢は確実に変化しています。今年のインターハイ、そして来年の国体を大成功に収め、湯沢町の活気を押し上げ、皆様にも少しでも豊かな生活が戻ります様、議会一同全力で努力する所存でございます。

まだまだこれからが冬本番ですが、皆様のご多幸とご発展をお祈り致しまして、編集後記とさせていただきます。

広報委員 師田 保

編集

湯沢町議会
広報常任委員会